

電友会四国連合会報

第 21 号

78. 1

目次

年頭にあたって……………	四国電気通信局長……………	二	
年頭のごあいさつ……………	電友会四国連合会長……………	二	
特別でんでん債の今後……………	四国電気通信局経理部長……………	三	
電友会四国連合会総会の開催……………		四	
秋の叙勲について……………		四	
各県退職者の会総会記(徳島・高知・愛媛)……………		五	
表紙のことば……………	莊野 丹秀……………	五	
特 集……………	午年は語る……………	六	
一宮喜多男	山岡 庄三	大國 秀雄	小笠原熊太郎
唐渡 英夫	小林 五郎	坂本 威	白石 登
鈴木 祥一	長尾 義夫	新居 嘉隆	丹生谷 保
安藤 保	岩原 貞恒	内原 寅吉	久米 実
志摩 広幸	白石 孝照	高曾根照雄	出口 秀夫
長島 正行	正岡 国光	村上 憲一	山下 道雄
野本マズ子	吉本 精一		
でんでん日尾クラブ発足……………		〇	
余 栄……………		〇	
宮内宗祿君の霊に捧ぐ……………	堀内 善一……………	二	
随 筆……………	高橋数一・栗田信雄・田中義隆……………	三	
訃 報……………		三	
編集後記……………		三	



頌 春

年頭にあたって

四国電気通信局長

工藤 理一郎



電友会の皆さま
明けましておめで
とうございます。
皆さま方には益
益ご健で、佳
新春を迎えられた
ことと思います。

今年も健康で明るい年でありませう、お祈りいたします。

旧年中は、会員の皆さま方から何かと多大のご協力とご支援をお寄せいただきまして、まことにありがとうございます。厚くお礼申しあげます。電友会は、年を重ねるごとに益々ご発展を続けられ、同慶にたえません。年頭にあたりまして、ひとことごあいさつをさせていただきます。

本年は内外の厳しい経済情勢の中にあつて公社におきましても、従来以上の経営の近代化効率化に努めるとともに、一層厳しい姿勢で事業の遂行にあたらなければならない、と

心を新たにしているところでございます。

公社は、現在ご存知のとおり、第五次五年計画の最終年度を迎えておりますが、長年の懸案でありました「申し込めばすぐく電話」の体制が確立され、「ダイヤル化率一〇〇パーセント」の目標も目前となりました。

この成果は、皆さま方諸先輩の在職時におけます事業に対する強い使命感とご努力が実を結んだものと、深く感謝いたしております。

公社は引き続き、昭和五十三年度から第六次五年計画を策定し、実施することとしております。この第六次五年計画は従来より以上に、キメ細かいサービスを中心とした「量から質」への経営方針の転換を打ち出したものであります。この計画では、約九兆円程度の投資規模によって一般加入電話七八〇万加入の増設、加入区域の拡大、老朽設備の更改・改良、ホームファックス等新しい電話サービスの開発・導入、社会福祉の向上に寄与する電話サービスの充実、信頼性の高い電気通信網の整備の促進、収入確保と経費節減をはかるとともに事業の近代化・省力化を積極的に推進するなどを主な柱としております。

次に、公社は事業の運営にあつて、電気通信サービス全般について利用者の意見要望をいただき、これを事業に反映すべく、昨年「電気通信サービス利用者委員会」を設置し、各界有識者の貴重なご意見ご要望をいただき、より一層経営の効率化に努力いたしておるところであります。

四国では待望の本四架橋が着工され、新しい飛躍の年だと考えます。私達も年の始めにあたり、電気通信の分野でさらに努力したい

と思ひます。何とぞ皆さまのご指導ご鞭撻のほど、お願い申しあげます。

最後に皆さまの益々のご健康とご活躍をお祈り申しあげ、私の新年のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

電友会四国連合会長

泉 節太郎



会員の皆さん、
明けましておめで
とうございます。
元気でよい年をお
迎えになられたで
しょうか。
さて顧みますれ

ば、一昨年、電電公社は、電信電話の料金改正に関する法案の通過が予定より遅れたため非常に資金繰難を招きました。その時、皆さんに対し、公社の発行する特別電電債の購入について、ご協力方お願いしたのであります。が、幸いこれに対する皆さんのご理解を得多額のお買い上げをいただきまして、公社もたいへん助かったと喜んでいただきました。そして、その後も引き続きご協力を得まして、昨年十月、通信局経理部の調査によってみますと、一昨年八月から昨年九月までの間に、会員の皆さんが直接買い上げられた額（会員のあつせんによるものを除く）は、実に二億円に達する状況であります。これは他

の管内に比較して、まことに優秀な成績だと通信局からも感謝の言葉を寄せられておりますので、このことを、紙上を通じて皆さんにお伝えするとともに、わたくしからも厚くお礼を申し上げます。

なお、電電公社におきましては、既発債券の償還、建設費の調達等のために、引き続き債券を発行する予定と聞いております。

ところで、われわれ会員が特別電債を買うということとは、われわれにとつては貯蓄となるとともに、他面電信電話事業への協力という、一石二鳥の効果をあげることとなるのでありますから、事情ご諒察の上、今後とも引き続き、ご協力下さるよう、お願い申し上げます。

次に電気通信共済会四国支部におきましては、従来福祉事業として、生活援助、医療共済、その他各種の施策をして来ましたが、今年四月から更に、電電退職者を対象とした文化活動を開始する予定で、目下具体的計画を策定ちゅうと聞いております。また計画の過程にあるので、はっきりとは判りませんが、例えば、老人向の健康法とか教養のための講演会の開催とか、囲碁、俳句、ハイキングといったようなグループ活動の奨励などとなるのではないかと、想像しております。何れにしても共済会が、われわれ（必ずしも電友会四国連合会関係の人々だけでなく、女子退職者の会その他に属する人々も含む）のために、経費を投じて催おしてくれる行事と思われまますので、実施の際には、皆さんの積極的な参加を、お願いしたいものと思っております。

最後に皆さんのご健康とご多幸をお祈りして、年頭におけるごあいさつといたします。

「特別でんでん債」の今後

四国電気通信局経理部長

清野 久

電友会諸先輩の皆様、明けましておめでとうございます。ますますご健勝の毎日をお過ごしのことと拝察致しております。

私どもの業務に関しましては「特別電信電話債券」（でんでん債）のお引受けを通じ毎回格段のご協力をいただいております。厚くお礼申し上げます。

管内の会員各位のご協力による消化額は、五十一年八月の第十七回債以降今日まで約二億円という膨大な額に達していることをあわせてご報告致します。

今回は貴重な本紙面をおかりして「でんでん債」の公社経営における役割と、今後の動向について少しく解説させていただきます。皆様のご理解を得たいと考えます。

ご承知のとおり、公社は四十九年度から三年間は赤字続きで、公社発足以来の経営の危機に直面し、皆様にもご心配をおかけ致しましたが、幸いにも五十一年十一月の料金改定により収支の改善を図ることができ、今年度は四年ぶりに黒字決算に返ることができると見込みです。

この間、皆様にご協力をお願いした「でんでん債」は五十一年度には約千六百億円の発行、建設資金の一割以上に達し、加入者引受

債券に次ぐ比重を占め、資金不足の中での設備拡充の財源として大きな役割を果たしてきてきた。

今後もサービスの拡充、改善のための資金源として「でんでん債」に対する期待はなおさらに高まるものと考えています。

確かに、五十二年からは黒字経営に転換するものの低成長期に入った今日、収入の伸びは従来ほど多くは望みえず、今後の収支動向は全く予断を許されません。

また、従来資金源の主力であった加入者引受債券は電話の新規需要の頭うちの傾向がみられるからこれも多くを期待し得ない情勢にあります。一方、公社が先日発表しました五十三年度からスタートする「電信電話拡充・改良第六次五ヶ年計画」にみられるように、電気通信サービに対する国民の広範な要請に因應するため五ヶ年間で約九兆円という巨額な投資計画が予定されております。

このように、今後の公社の動向を考えた場合、これからの必要資金を確保するためには安定した資金源が必要であり、その意味で「でんでん債」は重要な役割を担っていると見えましよう。

四十七年の第一回債以来現在まで二十五回発行し一応順調な消化を続けてきたものの今後とも国債、地方債、電力債等との競合など幾多の困難も予想されますのでより一層個人消費を中心とした安定した消化体制をめざす必要があります。

また、利殖の観点から考えても「でんでん債」は国債等他の利殖対象に比べてもまだまだだそん色のない有利性を保持していると考え

ております。
電友会の皆様におかれましては以上の事情をご賢察いただき今後ともよろしくご協力か
たお願いする次第であります。

電友会四国連合会総会の開催

去る十月二十八日、四国電気通信局付属棟
大会議室において第六回総会が連合会役員十
一名及び各県の会選出の代議員五十一名をも
って開催された。

会は泉会長のあいさつで始まり、工藤四国電
気通信局長からご鄭重な祝辞をいただき、参
議院議員西村尚治先生、長田裕二先生の祝電
披露のあと愛媛電友会選出代議員篠浦達行氏
が議長となり次の議案について討議を行ない
いずれも原案のとおり、承認または決定され
た。

- 一 連合会会費の値上げ並びに予算の補正に
ついて
- 二 昭和五十三年度事業計画（下記参照）
- 三 昭和五十三年度収支予算（同）
- 四 会務報告（五一、一〇一五二、九）
- 五 昭和五十一年度収支決算報告及び会計監
査報告（下記参照）

翌二十九日、ホテル奥道後において総会出
席者と、愛媛電友会第十六回総会出席者との
合同懇親会が公社の主催で催され、各県の会
員と地元電電公社の幹部との交歓の有意議な
会となった。

この総会開催に当り、電電公社並びに地元
愛媛電友会から格別のご配慮をいただきまし
たことを厚くお礼申し上げます。

昭和五十三年度 事業計画

電友会四国連合会は、各県の会相互の連絡
を密にし、会員の生活の安定、福祉の増進を
図り、あわせて電信電話事業に寄与せんとす
る会の目的達成のため、下記施策の推進を図
るものとする。

- 一 恩給・共済年金の改善は現職公務員の給
与にスライドして調整し、かつこれを制度
化するよう関係方面に強力なる陳情運動を
展開する。
- 二 恩給・共済年金の改訂時期については、
現職公務員の給与改訂時期と同時とするよ
う関係方面へ強力に陳情を行う。
- 三 遺族扶助料または遺族年金の算定基準額
は、恩給・共済年金額の八〇%（現行五〇
%）に改善するよう陳情運動を行う。
- 四 電友会四国連合会総会を開催する。
- 五 生存者叙勲の範囲拡大につき引続き電退
連を通じ関係方面へ要請する。
- 六 現行医療制度の下では、部内医療機関の
利用を困難とする地域はその恩恵に浴し難
いので、この救済案につき引続き電退連を
通じ電電公社へ要請する。
- 七 電気通信共済会が行う退職者を対象とす
る文化活動等に積極的協力する。
- 八 連合会会報の一層の充実をはかる。

秋の叙勲について

昭和五十二年秋の叙勲に愛媛電友会の
土居定信氏（元三津浜報話局業務課電信
運用主任）が多年にわたり電信電話事業
に貢献されたご功績により「勲七等瑞宝
章」をお受けになりました。
私共一同心からお喜び申し上げます。

昭和53年度 収支予算
(53. 4. 1~54. 3. 31)

収入の部		支出の部	
項 目	金 額	項 目	金 額
繰越金	4,000	分担金	30,000
会費	222,000	旅費交通費	138,000
賛助金	500,000	会報発行費	500,000
パッチ販売金	35,000	パッチ買入費	35,000
雑収入	36,500	会議室委員会 理事編集委員会	21,000 6,500 14,500
合計	797,500	事務用品費 通信印刷費	65,000 30,000 15,000 20,000
		雑費	8,000
		予備費	500
		合計	797,500

昭和51年度 収支決算報告
(51. 4. 1~52. 3. 31)

収入の部		支出の部	
項 目	金 額	項 目	金 額
繰越金	83,681	分担金	20,000
会費	92,400	旅費交通費	48,710
賛助金	446,000	会報発行費	446,000
パッチ販売金	31,900	パッチ買入費	58,000
寄付金	30,000	会議費 理事会 編集委員会	14,700 2,800 11,900
雑収入	3,437	事務用品費 通信印刷費	36,700 18,600 3,100 15,000
合計	687,418	雑費	10,059
		繰越金	53,249
		合計	687,418

電 德 島 温 古 会 総 会

第十六回電德島温古会総会は、十月二十六日午前十時から会員一五名が出席して、徳島駅前、阿波観光ホテルで開かれた。

新居副会長が開会を宣し、物故された会員方々に対し、ご冥福の黙とうを捧げたあと、豊崎会長のあいさつ、続いて大塚通信部長、大津眉山会長のあいさつ、新顧問、新会員の紹介、五名の喜寿、一〇名の古稀会員を祝して記念品の贈呈、受賞者を代表して、堀端隣夫氏の謝辞と次第はとんとんと進み、原重雄氏を議長に選り議事に入る。

五十一年度の会務報告および会計報告のあと、五十二年業務計画案、会費の値上げなど会則の一部改正の提案趣旨を説明、二三の質疑応答があつて、それぞれ承認可決された。ついで会長の任期満了に伴う改選には、現豊崎会長の再選を満場一致で決定して総会は閉会。一同記念撮影して、別室で懇親会に移る。

大塚通信部長のあいさつ、青山金治氏の乾杯の音頭で会場は、その雰囲気をはらりと変え、お互いの健康を祝福し合い、懐旧談に花を咲かせ、盃のまわるにつれて、のど自慢もとび出す盛会であつた。

表紙のことば

馬 馬 莊野 丹秀 (内海)

馬は好きな画題の一つである。うま年には毎年いろいろの馬を画いてきた。

あと何回うま年の馬が画けるだろうかそんな気持ちで元気いっぱい馬を画く。

高 知 県 電 電 公 社 退 職 者 の 会 総 会

第十六回総会は、恒例の電信電話記念日の十月二十四日午前八時三十五分から、城西館別館大広間で開催された。会は会長挨拶、高知電気通信部長の祝辞、新会員の紹介、新会員を代表して森米房君の挨拶に続き、議事にはいった。

経過報告その他五件が上程せられ、執行部から詳細な説明が行われたが、討議の結果、いずれも異議なく承認された。

本年度提出議案の焦点は、五十一年度決算が赤字となつた関係上五十二年度予算中記念写真費七万円をはずし、これを希望者負担として組替予算を提出したことであるが、会員の理解により円滑に議決されたことである。会員の意見として、四国の他三県には医療機関があるのに、高知県にはない。不公平と云わざるを得ないとの発言があつたが、この件については本部でも考究されている。医療問題は一般の保険医療も含めて、今や根本的に見直すべき段階に來ている。かりに高知市に通信病院を造つてくれたとしても、県下全会員を対象とした解決にはならない。が趣旨を体し最善を盡したい、との会長の意見が述べられた。

最後に恩給年金の是正について、参議院議員西村尚治、長田裕二両先生に対しての陳情決議を承認し閉会した。

愛 媛 電 友 会 総 会

快晴に恵まれた十月二十九日、菊花かおるホテル奥道後で第十六回総会を開催。会員約

二五〇名が出席し、堀内善一氏を議長としてまず泉会長からあいさつの後、守家愛媛電気通信部長のごあいさつで電信電話事業の近況を承り電電債の消化についてOBの協力に謝辞を述べられ、又羽藤氏、伊藤氏両顧問からそれぞれ祝辞をいただいた。

つづいて新会員を紹介、物故会員に黙祷を捧げ、祝電等を披露の後議事に入り、五十二年度会務報告と会計報告を承認し五十三年度事業計画と収支予算が決定された。

その後古稀、喜寿を迎えた方々に会長から記念品と祝辞が贈られた。最後に役員改選で会長、副会長を再選し、幹事竹田輝豊・宮下義朝・阿部安樹・毛利正雄の諸氏ならびに会計監査渡部義数氏の辞任に伴い、新たに須賀田初子・松垣加行・小林俊雄・青野栄の諸氏を幹事に大西久男氏を会計監査に選任し、その他の役員は全員再選された。

総会後、通信局、通信部幹部と県下報話局長のお世話で公社招待の懇親会が開かれた。前日開催の四国連合会総会出席者を含めた盛大な合同懇親会には、歓談に花が咲きお互いの健康を祈りつつ乾杯のうちに散会した。

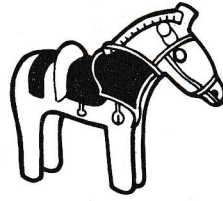
扶養控除等申告書を

お出しになりましたか。提出期日は一月十日です。年金を主たる収入としている方で、年金の年額が六〇万円以上の方は必ず四国電気通信局職員部厚生課長あてご提出下さい。

なお申告書余白に年金証書の記号番号および自宅の電話番号の記入をお忘れなく。

特 集

午 年 は 語 る



アンケート項目

- 一 年令、住所
- 二 今年やってみたいこと
- 三 家族の構成とわが家のくらし
- 四 忘れえぬ恩人 (氏名と内容)
- 五 その他

一 宮 喜多男 (松山)

- 一 八十四才 松山市石手五丁目八一十四
現在私が経営している日本電話建設の売上倍増。創立三年目を迎える日本コンファック(コンピュータ、ファクシミリ)はこれから伸展する傾向にあるのでこれを楽しみ頑張りたいと張りきっています。
- 二 同居、長男卓(42)、同妻若子(35)、孫正喜(11)、正憲(6)、他に娘二人、孫七人、曾孫八人。
忘れ得ぬ恩人と言えば両親と恩師以外になく毎朝神棚に向って父母の顔を思い浮かべ礼拝しています。
- 三 社会人としては下関電信局試験係に採用せられた時、当時の主任技師安武章三さんが先ず頭に浮びます。温厚篤実、真面目な人で仕事の上でも又家庭的にも忘れることが出来ません。何か仕事の事で苦勞すると、「窮すれば通ず」「案ずるよりも産むが易し」とよく言われたことが頭に残って自分も常に経験しております。

山 岡 庄 三 (松山)

- 一 八十三才 松山市緑町二の四の五
私に今年やってみたい事はと聞かれたら先ず第一に家族揃って健康で愉快な毎日の生活を送りたいと答えたのです。
- 二 それを満たすためには充分の栄養をとり規則正しい生活を営む事が必須条件でありそれを実行に移す為めに、私は一定のプランを立てて次の様に実施致します。

時には観劇を民謡を映画詩吟等の娯楽を生活に受入れて興味を重視しなければなりません。

諸物価高騰の折柄これに対処して大脳の投資も必要なことであり、また一定の金儲けをする事は生活を豊かにする上

に一番大切な支であり私はこれを実行するために最大の努力を傾倒することが今年の私に課せられた最大の課題であると考えて居る次第であります。

妻、長女、長女の息子の四人暮し、孫は大学在学中で休暇の他は三人。妻は神経痛で足が不自由になり家事が出来ないので炊事、洗濯、家事一切を交替で二人のお手傳さんにやって貰っている。

私が通信局に就職する迄の会社の同僚及び長かった大阪通信局、松山通信局、電電公社と退職後の十年間勤めた電気通信共済会の以前の上司・同僚の方々其の他総ての方々には何等かの関係に於て教えられ援助せられて参りました。私が四十年間の長きに亘り無事に感慨深く自由で平穩平等に日々を送る事の出来た事は

みなこれ等の人々のお蔭と深く感ずる次第であります。

大 国 秀 雄 (松山)

- 一 七十一才 松山市道後一万六の一
毎日を自分なりに悔の無い日をと心がけ度い。
- 二 妻と二人で豊かではないが借財なし。
- 三 知己友人全部がそれに当るので、特に思い当りません。

小 笠 原 熊 太 郎 (高松)

- 一 七十一才 綾歌郡国分寺町新居
特にこれと思うものもないが、健康保持のため畑仕事に専念するつもりです。
- 二 幸い当町の老人福祉のお蔭をもちまして明生大学というものが有り、出席させてもらい今日を喜んでおる次第です。
- 三 愚妻と二人暮しで、妻が起きると同時に起き独特の体操を始め、朝食となりその日が明け暮れてゆきます。
- 四 恩人については、出会う人それぞれ皆さんにお世話になり、教えられるところ多々ありまして、これそのものが恩人であると思っております。

唐 渡 英 夫 (高松)

- 一 七十一才 高松市飯田町五一七
商売を三人で共同経営をはじめてから、約束の五年が過ぎた。今年元は元の独営にかえって一働きしてみたい。
- 二 長男は郵政大学教官、次男NHK放送記者、三男、四男は電電公社とそれぞれ

自分で選んだ職業であるが、考えてみると我家も通信一家である。ただし現在はお妻と二人で一〇アールほどの菜園をもてあましながら別に事務所をもって不動産屋をやっている。

父（養父とは言いたくない）である。かなりな自作百姓の長男になるべく生れたが、両親の結婚破綻から生後半月で祖母に当る人が犬か猫の子を捨てるように貰子に出した。偶然男の子をなくした父に貰われ三年後に「せらい子」が生れたが、父だけは実子以上の愛情をもって育ててくれた。その大恩人も十四才のときなくなり孝行をしたい時に親はなかった。

小林 五郎（久万）

一 七十一才 上浮穴郡久万町下畑野川
二 昨年健康を害してから今尚養生中で体が弱くは何事も思いつきが悪いので今年に生活の目標を特に健康第一におき体の回復を念願しつつやってみよう。
三 四人の子供もそれぞれ成長し、二人は松山で、二人は東京で生活している。其の内二人が公社に勤めている。目下妻との二人暮らし、狭い土地ながら季節の野菜作りや、庭木、盆栽いじり、時々の旅行等で退屈なく過しています。
四 在職中多くの先輩から教えられ導かれて大過なく過すことの出来た事を本当に心から感謝していますが特にこの人と言ふような方はありません。と言うより、そのような事柄、事件がなかった、と言う方が本当でしょう。

坂本 威（徳島）

一 七十一才 徳島市川内町榎瀬四七四の一五
二 気楽に旅をしてみたいと思っているが最近高血圧のため医薬の厄介になってるので実現するかどうか判らない。
三 私共夫婦、長男夫婦、次男の五人暮らしであるが不健康の故か何をすることも根気なく消極的となり平々凡々の毎日を過している。
四 特別な人はなく言うなれば先輩同僚諸氏の恩恵により長い年月安穩に過し得たものと感謝している。

白石 登（松山）

一 七十一才 松山市中村二丁目五の二十一
二 家が大変古くなったので修繕か又は新しく建て直したいと思っています。
三 妻と二人暮らし、近所に孫が居るので、子守をしながら野菜と米一段七畝作っているのが結構いそがしい日を過している。
四 松原池信さん（故人）―私を電電公社へお世話して下さいました。
その人は電電公社におられたが後に県の電話の仕事をして定年まで勤められた人でした。

鈴木 祥一（高松）

一 七十一才 高松市宮脇町二―三五―八
二 旅行が楽しみで、今年には伊豆大島・佐渡ヶ島・沖縄西南諸島へ行ってみよう。
三 夫婦（無職）と二女（整形外科病院勤務）の三人暮らし。長男（電電公社業務局）夫

婦と孫一人は東京で、二男（菓子商）夫婦と孫三人は大阪、また三男は食堂主任として伊東市で居住している。

鈴木幸吉氏（故人）

私は大正十年四月大阪通講入所、卒業後大阪中央電報局勤務中昭和六年十月病氣のため退職し、郷里で療養中昭和九年一月鈴木幸吉氏が、体もよくなったようだから私の所（造船業）で事務でもやってみるかということで大坂の工場で勤めさせてくれた。そのため体に自信が持てるようになり、昭和十年九月復職ができたため私の今日がある。

長尾 義夫（徳島）

一 七十一才 徳島市中昭和町三の六十八
二 先祖代々の供養を真剣にやってみよう。別に般若心経写経三十回を達したいとおもっています。
三 倅夫婦とその長男（二才）、二男（一才）とわれら夫婦の六人。倅の給料生活にできるだけ応援して足してやっています。幸いにいづれも健康のため安定して暮らしています。
四 少年時代 坂田豊太郎先生 自由主義の
実践
成人時代 栗本計太郎様 対話の心構え
五 公社の下請工事業者の勤務も終盤を迎えて生活面の自由にはたれることに安堵の念で一杯です。

新居 嘉隆（徳島）

一 七十一才 徳島市伊賀町二丁目十二

二 永年の朝顔つくりの完成の年にしたい。又菊作りに手をつけたい。

三 息子夫婦と孫二人は松山市在住、現在妻と二人暮らし、早朝の山登と庭の手入ののんびりした毎日。

四 特にありません。

丹生谷 保(松山)

一 七十一才 松山市星岡町二二四の五

二 (1) 退職後身辺の整理整頓を最重要行事としてきたが諸情勢から早急に終結の必要を感じ今年は特に強力に行いたい。現世に、仕残し心残りのなるべく少くを念願。

(2) 北京会(通信省派遣北支軍司令部付軍属同期会)を開催する。全国各地諸君の熱望期待に応え、有意義な会合とするよう発起人として努力中。

三 子供達夫婦及孫達は松山、東京、所沢の各地で健在。私達夫婦は前記の住所で平隠無事な生活である。私の日常生活信条は、神仏崇拝。知足感謝。簡素単純。平隠無事。健康法の持統。

四 (1) 丹生谷善康氏九十二才(亡父の弟)私六才、弟三才、妹一才の時母死去、其後長期間私達を養育して呉れた人。現在病臥中。

(2) 井手シゲヨ氏八十六才(家内の母)私一家のある時期十年間に亘る非運窮乏時(父弟病死、私、家族の長患等)に献身的に救護し破滅から救って呉れた人。所属宗団から表彰や多大の尊敬を受けている篤信の人。

五 健康、趣味、実益で日曜大工園芸を習得。家内外の修理、庭木の剪定等自分でやる。

安藤 保(高知)

一 五十八才 高知市堺町一〇の一八

二 とくにありませんが五十一年五月退職以来適当な勤務先に恵まれず、家事の手伝い等雑用に明け暮れています。高血圧を除いて至って頑健です。早く何らかの職に就きたいと思っています。

三 娘二人も漸く嫁ぎ現在は義母(亡妻の母)との二人暮らし。僅かな年金のみを頼りに精一杯切りつめて毎日を過しています。

四 終戦直後の二十年十月復員してすぐ高知郵便局への就職をお世話頂きながら、インフレによる物価高のため約半年後に勝手に退職し、更らに五年後の二十六年四月高知電話局への再就職をお世話していただき以後五十一年五月の老令退職まで大過なく公社生活を全うできたのも、四十四年阿波池田電報電話局長を最後に公社をご勇退された吉村正喜様のご厚情の賜と日夜感謝しております。

岩原 貞恒(南国)

一 五十九才 南国市比江三四八の四

二 新聞の切抜き

三 妻、息子夫婦に孫四才(女)、一才(男)の六人暮らし。

私 は地区社会福祉協議会役員、神社総代。妻も婦人会役員、護国寺会計をし、週一回二人で謡曲も習っています。

起床五時、国府中継所前、自宅の清掃、畑の手入れ消毒等。他に鮎釣鯉釣たまにはチヌをねらって種崎、桂浜へと。

息子は自動車工場へ嫁は子供の守で毎日中々にぎやかです。

菊池金一氏

係長当時高知報話の施設部長でおられて私の一番苦手の文書作成、事務処理等を手にとるようにして親切、丁寧に指導していただき今でも感謝しております。

内原 寅吉(松山)

一 五十九才 松山市姫原三の五の三十二

二 ゴルフのハンデーを、せめて二ツ三ツ上げたいものと思っております。

三 子供は二男一女。男二人は他で勤務しており家では妻と勤めを持つ娘の三人くらし、庭の一部を畠にして野菜を作っているがそれも大きな楽しみの一つです。

四 たくさんいますが、山上次郎さんはそのひとり、東京中電時代等若さ故の失敗もありましたがいつも大きく見守り育ててくれました。

久米 実(高松)

一 六十才 高松市花園町一三三七

二 戦災で消失した家系図の掘り起しのため流行のルーツをやってみたいと思っている。

三 妻との二人暮らし、娘達は大阪、東京に住んでいるが、孫達は毎日のように電話があり楽しい。公庫融資による自宅も古びたがこれが現在家計を助けております。

な お交際費の高騰に弱っています。
 四 兵役、終戦と、もう皆様が恩人であり、
 どなた様にも感謝しております。
 五 諸先輩の皆様のご健康を祈念申しあげます。

志 摩 広 幸 (徳島)

一 六十才 徳島市末広三の三の一
 二 今までやったことのないことをやって
 趣味の領域を拓けようと思つている。具
 体的には彫刻とレンジフラワーがおもしろ
 そうだと考へている。

三 母と妻と息子二人にもう一人増えて六
 人家族、うち一人はまだ学生なので大阪
 に寄宿。
 娘は嫁いで和泉市に在住、時々孫の成
 長をみせに帰ってくる。

四 吾以外はみんな恩人。

白 石 孝 照 (松山)

一 五十九才 松山市中村三の八の七
 二 室戸で始めたお四国参りを達成したい。
 三 妻と下の子二人の四人暮らし。仕事の関係
 などで団らんの機会が少ない。盆と正月
 に長男長女の一家が集まるのが楽しみ。
 四 戦前、戦中(台北陸軍病院)、戦後を通
 じて人生の轉機が何度もあり、その時々
 に御恩になった方々の思い出はつきない。

高 曾 根 照 雄 (小松島)

一 五十九才 小松島市日開野町加々三松
 二 退職前の転勤等によりすっかりごさ
 たしていた邦楽(尺八)を最近新しい竹
 友もできたので昔を思い出してやりたい

三 私(日電工徳島支店勤務)と妻、長男
 (徳島電気通信部勤務)、長男妻、孫
 (四才)の五人暮らし。
 四 特になし。

出 口 秀 夫 (徳島)

一 六十才 徳島市安宅二丁目八の五の三
 二 盆栽(さつき・ふじ・五葉松)
 三 母、妻、昨年暮に三女が結婚してから
 大人ばかりの静かな家庭になりましたが
 近くに二女の子供(四才、二才ともに女)
 が時々来てさわいでくれます。

四 越久田利治氏(故人、元通信部次長)
 旧中卒業して大阪通信局徳島工務出張所
 に就職したときの先輩で上司に信用され
 部下に信頼され人徳の高い立派な人でし
 た。公私共永い間お世話になっていたの
 で私の性格育成の基礎になっています。
 現在でも越久田さんを偲んで人格の陶
 治に努力しています。

長 島 正 行 (徳島)

一 五十九才 徳島市北沖洲一の八の七九の四
 二 体調も回復したのでできるものは何で
 もやってみたい。文芸活動に打込みたい
 と思つている。
 三 妻と長男夫婦、長女の五人暮らし。
 至極平凡なサラリーマン家庭である。
 四 現在の方々も多いので氏名をあげるこ
 とは遠慮させていただきたい。一応閑居
 の身となった現在も変らぬ深いご理解と
 ご配慮をいただいでさみしくない毎日を
 送らせていただいでいる。

正 岡 国 光 (伊予)

一 五十九才 伊予市下吾川北新川二〇一〇
 二 昨年から洋画を続けるとともに今年
 は特に水墨画を始め家の中を自作の画で
 埋めてみたい。

三 妻、二男、二女の六名、長男長女は配
 偶者を得て孫五人有り別居、二男は同居
 で目下花嫁募集中、末子は東京音大(四年)
 のため別居中、家庭内で波風を立てない
 極平凡な一家として努力している。

山 脇 新一 氏 (前局長)

四 公社職員となつて三年だつたと思うが
 職場の空気にもようやく馴れたその油断
 も原因で銀行より到着した電電債券の小
 包を開包と同時に防火訓練の警報発令。
 包装紙と債券袋を取り違え債券の現物を
 火中に焼失したことで私を勇気付け親
 切に何くれとなく指導して下さつたこと
 を忘れ得ず恩人として感謝している。
 五 健康法として毎日朝夕各五〇〇回、一
 日一〇〇〇回を目標に縄飛びを一日の休
 みなく一年三ヶ月続けているが五年継続
 を一つの目標として頑張っている。

村 上 憲 一 (赤岡)

一 五十九才 香美郡香我美町徳王子
 二 特にやってみたいというものはない。
 三 長男、二男共に別居し妻との二人暮らし。
 四 吉田春寿氏(叔父、故人)昭和二十四
 年肺結核に昌されたとき医師であつた叔
 父が当時入手困難であつたストレプトマ
 イシンによる治療を続けてくれたお蔭で

現在も健康で生きていられることを感謝
しています。

山下道雄(高知)

- 一 五十九才 高知市仁井田
- 二 数年前から菊づくりをはじめましたが失敗ばかりしています。今年こそは何とかものにしたいと思っていますが。
- 三 妻と二人暮らしになってから十年を超えました。「ポケットベル」の仕事をしていますので現役の延長のような毎日です。

野本スマ子(松山)

- 一 四十七才 松山市祝谷二丁目九の二六
- 二 中小企業の会社の経理をやって二年。今年決算書作成、会計監査のやり方資格取得などやってみよう。
- 三 夫四十八才、長女十九才(県外大学生)二女(高三、就職希望)の四人暮らし、秋田犬二匹テリヤの雑種一匹を飼っている
- 四 仕事の関係で夫とは別居しています。又私の年金が大いに役立って暮しを潤しています。

日本軍の捕虜、氏名は不詳の一アメリカ兵士(三十才位)

妹が三才の時誤って川に落ち大ききわきをしていた時黒山の中から一瞬棒高とびのように一人の人間が宙に舞い上り川にとびこみ助けてくれました。妹はそれから三年後不幸にも病気で亡くなりましたが勇敢な兵士、恩人として胸に残っています。

午の置物を買っていました。名馬又俊

馬と申しましようか心が洗われる様です。今年も尚一層人々の為に盡します。

吉本精一(徳島)

- 一 五十九才 徳島市明神町三の二三の四
- 二 (1) 二十四年八月四国に住みついてからの生活と経緯体験のあらまし日記帳をたよりに年次別に私なりの記録に残して過ぎし「よすが」にしたいと思っています。

(2) 雑学ながら引揚後ボツボツ買い集めた哲学関係図書、法律書ノート等を整理し頭の体操と頭脳の老化を防ぐ糧としたい。

(3) シベリヤ抑留四年がたたり晩婚のため子供が遅く一人も片付いていないので何んとか早く夫々落着いてもらいたい同年輩の諸兄の生活をしたいたいものと念願している。

母、妻、長女、二女、長男(一橋大四年)

河合操氏(シベリヤ抑留中の友人)

年令現在六十四、五才。旧東京物理学校卒(現東京理科大学)当時九大法文学部教授印度哲学専攻の令兄がある。

シベリヤ抑留中の心友で今一度会ってすぎしラーゲル時代をともに語り合いたい。(香川県在住と思われるので存知の方があたらご一報おねがい致します)

(編集氏から) この特集は年男年女の二十六氏が勢ぞろいされましたので、二長老に上座に座っていただきました。

「でんでん日尾クラブ」発足

松山市久米地区(鷹子町、南久米町、北久米町)居住のOBが、心のつながる近所づきあいをして、第二の人生を楽しく長生きしようとして、十月八日久米公民館で創立集会を開き二十三名出席した。

会則は定めず、世話人が交替で担当して四季各一回程度集り、行事は会員の希望に従うほか、回覧ノートを備えて回付し、随意記入して順送りすることなどを決めた。

歓談三時間余の茶話会は各自の近況にも触れ、次回の新年懇親会も打合せで、まったく和気あいあいとして楽しかった。(田中生)

余 栄

ご逝去されました左記の方々に對し多年電気通信事業に貢献された功績により叙勲がありました。

正七位勲六等瑞宝章(五二、五、三二)

故 高橋林次郎殿(松山)

從六位勲五等瑞宝章(五二、六、一)

故 宮地 虎一殿(高知)

勲八等瑞宝章 (五二、六、一五)

故 二宮 禎殿(松山)

從六位勲六等単光旭日章(五二、七、二四)

故 有井 八郎殿(松山)

正七位勲六等瑞宝章(五二、八、一一)

故 竹花 散治殿(高知)

宮内宗祿君の靈に捧ぐ

堀内 善一(松山)

奥道後や、晩翠荘では菊花展が開かれて
るのに、うちではまだ輪台さえ取付けてない
ので、今日こそはと朝早くから、菊の手入れ
をしながら、そうだ、この苗は去年宮さんか
ら「菊のしおり」まで添えていただいたもの
だが、彼は五月から入院しているの、来年
は、お返しせねばならんぞと思いつきながら背伸
びして、さわやかな秋晴れの青い空を仰いで
いるときでした。

チリリと鳴るベルの音に、一瞬胸騒ぎを覚
えながら出てみると、佐賀さんが涙ぐんだ声
でとうとう宮さんがやられた!!

それは十月二十三日の朝でした。

あの温厚な宮さんは、初めて入院した野本
病院で七十一才の生涯を閉じたのです。

ああ何たる痛恨事ぞ!!

これまで、何回か見舞ったけど、入院患者
とは思えぬ程血色も良く、一度は退院したの
で、すっかり安心していたのだが、その後、
また入院したとので、二日前に後髪を引
かれる思いで見舞ったときには、一目で、あ
あもう駄目だなあと思った。

これまではいつもベットに座って、楽しく
話してくれたが、すっかり生気を失ない、涙
をぼろぼろ流しながら「善さんこないなっ
てしまった」と。

僕はもう堪えられなくなって、しっかりと
彼の手を握り、叶わぬながらも神に祈る気持
で、早う元気になって一杯やろうぜ、と励ま
しはしたもののシヨックは大きかった。

宮さん、私どもは、まだまだあなたの遅ま
しい豊かな将来を頼りにしていたのに本当に
残念です。

だが、あなたが、その生涯を貫ぬき通した
あの旺盛な責任感、今もさん然とかがやい
ており、誰からも永く無限に尊敬され続ける
ことでしょう。

宮さんとは、五十年來の交友で、思い出は
つきませんが、なかでも、四十年勤続の慰安
旅行で九州一周をしたこと、退職記念にあな
たの車で四国一周をしたこと、それから、毎
年椿祭にご馳走になったことや、麻雀やパチ
ンコぐらいしか知らない僕にサツキや菊作り
の楽しさを教えてくれたことなど、あなたは
僕にとってかけがえのない温かい良い友でし
た。

また、あなたはちゃんと生涯設計をたてて
ゆうゆうと生きがいのある毎日を刻んでいた
そうですから、ご遺族も、あなたの周到な思
いやりに、きっと感謝されている筈です。
宮さんどうぞ安らかに眠ってください。



随

筆

あくせく生きる不幸

高橋 数一(西条)

よく目に触れる標語で、私がすっかり気に

入っているものに「狭い日本、そんなに急い
でどこへ行く」というのがある。

三十七万平方キロに過ぎない国土に、一億
一千万もの人間がひしめいている関係もある
うが、さも忙しげに右往左往している有様は
夕立に見舞われたアリの群さながらで、いさ
さかあさましい感じがする。

自由社会には競争の原理があるとはいえ、
人間らしいほんとうの幸福を維持しようとす
れば、徒らな競争はお互いに自己抑制しなけ
ればならない。隣が乗用車を二台持ったから
うちも持とう、あの家では子供にピアノを買
ったからうちでも買おう、友人が鉄骨ブロッ
ク二階の家を建てたからうちでは鉄筋コンク
リート三階の家を新築しよう、あの人がハワ
イ旅行をしたのならこちらではヨーロッパ旅
行をやるう——という調子ではお互いにヘト
ヘトになってしまうにちがいない。

大空を静かにしるき雲はゆくしづかにわ
れも生くべくありけり、相馬 御風

という心境で生きられないものなのか。
「日本という国はシビリイゼーションは発達
したけど、カルチャーでは世界最低だという
ことを知ってほしい。世界にはね、もっとも
っとみじめに生きているけれど、実にすばら
しいという国が一杯ある」。これは岡本太郎
氏の最近の言葉である。

「電電四国」の第三九八号で、通信局施設
部の森口秀稔君が、アフリカの馬拉ウイ共和
国で二年間を過ごした体験記事を読んだが、
「明日できることは今日するな」のユックリ
ズムに徹した馬拉ウイ人は、日本人よりも幸
せそうだったという。してみると、馬拉ウイ
もすばらしい国の一つかも知れない。

漱石と謡

栗田 信雄 (松山)

漱石の「永日小品」に元日に虚子と二人で「東北」を謡い、また虚子の鼓に合わせて「羽衣」のクセを謡ったときのことか書いてある。

わたくしは下掛宝生流を習っているので、漱石がなに流をやったのか知りたく思っていたところ最近手にいれた資料によると下掛宝生流十代の宗家、宝生新(昭和十八年没)について習いはじめている。明治四十年四十一才のときである。

漱石の日記明治四十二年三月十九日「新今日も来たらず」とあり、三月三十一日午後新来る「綾鼓」を少し習う、夜安倍能成来たり「草紙洗」と「三山」を謡う。六月二十四日十時安倍、小宮と「清経」を謡う。七月二十九日夜安倍、野上来「通盛」と「調伏曾我」を謡う等々、この頃は謡に熱をあげていたようである。

さて漱石の謡について新先生は「あの謹厳な人格者の謡はシツカリしていたが非常に色気のある謡い方でその点はどうにもなりませんでした」となかばさじを投げていたといわれている。

五十才の若さで死んだ文豪は謡については大成するにはいたらなかったのであるまいか。

習 慣

田 中 義 隆 (松山)

加藤康司氏は、五十年もの間、校正の仕事を担当されてきた。その人が、

「私の校正訓の一つに、辞書、それはわが友」というのがある。字を見ていて、少して

も頭にひっかかるものがあつたら、すぐに辞書か参考書を開く。それが身についた習慣である。」(同氏著「辞書の話」)

原稿を書いていて、私もたびたび辞書を引く。あやふやな場合はもちろん、だめ押しに引くときもある。そして安心する。

加藤氏が国電の中で、眼鏡なしに小型辞書を読んでいるので、隣の婦人がいぶかって聞いた。

それへ「奥さん、眼は使えば使うほどよく見えるようになりますよ。ふりがなでも読めますし、針のめどに糸を通すことくらいはわけなくできますよ」と答えている。明治三十六年生まれである。

新年は気分が一新する。たのしい長寿のために、たのしい習慣をつけておきたい。今からでも、決して遅くはない。

訃 報

次の方々が亡くなりました。謹んで哀悼の意を表します。

氏 名	死亡月日	行年	所 属
重松 秀一殿	52・8・23	六二	久万
土居 盛尾殿	52・9・28	六九	土佐中村
宮内 宗祿殿	52・10・23	七一	松山
都築勘三郎殿	52・10・28	七九	八幡浜
丸山 定一殿	52・11・12	六〇	伊予
中村 寿雄殿	52・11・13	六六	高松

投稿規定

- 一 会員消息 四〇〇字以内
- 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
- 三 随筆、随想 六〇〇字以内

原稿締切 二月一〇日
原稿の取扱についてはお任せねがいます。

編集後記

▽明けましておめでとうございます。年金のベ・アはまず恩給が決ってから具体化するの、今まで五十三年度政府予算要求の段階でわかった恩給関係は(1)仮定俸給年額を上薄下厚の趣旨で約七%増額する(2)遺族、寡婦加算の引上げ(3)改善時期の四月実施等で、これらの総理府恩給局案が大蔵省の第一次、第二次等の査定にかかり政府予算となり、さらに国会に提出されます。我々の共済年金についてはその後となる見込です。
▽特集として午年の方々から玉稿を頂きありがとうございます。干支を四回迎えられる方から七回迎えられる方までのご消息を掲載させていただきます。二長老のご長寿をお祈りするとともに八回目午年ご消息を頂けることを念願してやみません。(玉川)

電友会四国連合会会報 第二二号

昭和五三年一月一日発行

編集発行 電友会四国連合会

事務局

松山市一番町四丁目(二七九〇)

四国電気通信局内

電話(〇八九九)三六一二〇二三

印刷 四国電話印刷株式会社